



ファブリックの管理

- [グレースフル挿抜 \(GIR\) モード \(1 ページ\)](#)
- [REST API を使用して、メンテナンス モードにスイッチを削除 \(2 ページ\)](#)
- [CLI を使用して操作モードにスイッチを挿入する \(3 ページ\)](#)

グレースフル挿抜 (GIR) モード

正常な挿入および削除 (登場させ) モードでは、またはメンテナンス モードでは、最小サービスの中断でネットワークからのスイッチを特定するためにできます。登場させモードでトラフィックの影響を与えずにリアルタイムのデバッグを実行することができます。

グレースフル挿抜を使用してスイッチを正常に取り出し、そのスイッチをネットワークから分離して、デバッグ操作を実行することができます。スイッチは、最小限のトラフィックの中断だけで、通常の転送パスから取り外されます。デバッグ操作の実行が終了したら、グレースフル挿入を使用して、そのスイッチを完全な運用 (通常) モードに戻すことができます。正常に削除、外部のすべてのプロトコルが適切に電源を切るファブリック プロトコル (IS-IS) を除くと、スイッチは、ネットワークから切り離します。メンテナンスモード時に、最大メトリックは IS-IS 内でアドバタイズ、Cisco Application Centric Infrastructure (Cisco ACI) ファブリックおよびそのため、メンテナンスモード TOR がスパインスイッチからのトラフィックをひく点されません。さらに、前面パネルのすべてのインターフェイスは、スイッチ ファブリック インターフェイスを除くでシャットダウンされます。グレースフルの挿入で、スイッチは自動的に廃棄、再起動、および recommissioned。再稼働が完了したら、外部のすべてのプロトコルを復元し、IS-IS で最大のメトリックは 10 分後にリセットされます。

次のプロトコルがサポートされています。

- Border Gateway Protocol (BGP)
- Enhanced Interior Gateway Routing Protocol (EIGRP)
- Intermediate System-to-Intermediate System (IS-IS)
- Open Shortest Path First (OSPF)
- リンク集約制御プロトコル (LACP)

特記事項

- アップグレードまたはダウングレードメンテナンス モードでスイッチがサポートされていません。
- イーサネット ポート モジュールでは、インターフェイスを増殖停止、スイッチは、メンテナンスモードでは、通知に関連します。その結果、リモートスイッチを再起動するか、またはこの時間中にファブリック リンクかを調べますは、ファブリック リンクはありません確立した後で、スイッチがリブート手動でない限り (を使用して、 **acidiag タッチ クリーン** コマンド)、廃棄、および recommissioned。
- 複数のポッドの 再配布されたルートのメトリックを IS-IS 63 未満に設定する必要があります。設定を 再配布されたルートのメトリックを IS-IS 、選択 ファブリック > ファブリック ポリシー > ポッド ポリシー > IS-IS ポリシー 。
- 既存の登場させには、すべてのレイヤ3トラフィック迂回がサポートされています。LACP でレイヤ2のすべてのトラフィックは、冗長ノードを迂回も。ノードは、メンテナンスモードに入ります、されるとすぐに、ノードで実行されているLACPは、不要になった集約できるようにポートチャネルの一部としてネイバーを通知します。すべてのトラフィックは vPC ピア ノードを迂回します。
- 登場させアップグレードの Cisco Application Policy Infrastructure Controller (Cisco APIC)-接続のリーフ スイッチは、さまざまなメンテナンス グループに配置する必要がありますように、 Cisco APIC -接続のリーフ スイッチがアップグレードされた 1 つずつを取得します。

REST API を使用して、メンテナンス モードにスイッチを削除

REST API を使用して、メンテナンス モードにスイッチを削除するのには、次の手順を使用します。

手順

メンテナンス モードにスイッチを削除します。

例 :

```
POST
https://<IP address>/api/node/mo/uni/fabric/outofsvc
<fabricOOServicePol descr="" dn="" name="default" nameAlias="" ownerKey="" ownerTag="">
  <fabricRsDecommissionNode debug="yes" dn=""
removeFromController="no" tDn="topology/pod-1/node-102"/>
</fabricOOServicePol>
```

CLI を使用して操作モードにスイッチを挿入する

この手順を使って、スイッチを CLI を使用している動作モードに挿入します。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	<code>[no]no debug-switch node_id or node_name</code>	動作モードにスイッチを挿入します。

■ CLI を使用して操作モードにスイッチを挿入する